

観自在

弘長寺寺報
第6号
平成十五年
八月

弘長寺十八世 住職辞令拝受

《一発菩提心を
百千万発するなり》

五月二十二日・二十三日の
両日、曹洞宗宗務庁で住職就
任研修を受け、曹洞宗管長・
大道晃仙猊下より住職辞令を
拝受致しました。

身の引き締まる思いで、緊
張して辞令を受け取っている
のが下の写真です。

道元禪師様は、
「一発菩提心を百千万発する
なり」と仰せです。

わかりやすく言えば、「常
に仏道を求める心を失わず、
修行を怠ってはならない。」
ということなのです。

前曹洞宗管長・板橋興宗禪
師様の言葉を思い出します。
「僧堂（修行道場）での修行

弘長寺住職 森田裕光

を了えて住職になり、三ヶ月
は何とかまじめにお勤めをし
ていた。

しかし自分の怠け心が生じ



てお勤めをサボるようになって
きた。

檀家さんの目につかないと
ころで平気で怠けるようになって
しまった。」

正直に告白されました。

ここまでは私などと同じレ
ベルでありますからホツとし
ます。

しかしここから先が禪師様
の禪師様たるゆえんなのです
が、「これでは自分が駄目にな
ってしまいうから、自らを怠
けることが出来ない環境
に置くしかない。」とし
て、僧堂の役僚（雲水の
指導役）とられました。

イヤでも早朝から修行
僧と行動を共にしなければ
なりません。
「本当の安心できる場
所だった。」

そしてとうとう大本山
の禪師様になられました。

とても禪師様の真似は
できませんが、怠けられ
ない環境づくりに励むこ
とが、百千万発の発心づ
くりになるのではと、誓
いを新たに致しました。

あのバチ（罪）

このバチ

思い当たる

バチがいっぱい

それでもまだ

天がわたしを

生かして

くれる

相田みつを

弘長寺護持会会長就任のご挨拶

弘長寺護持会
会長 武田民三

梅雨が明けるのも、そう遠くはないと思われませんが、護持会会員の皆様にはご清祥のことと心からお慶びを申し上げます。

去る五月、当期護持会委員会において、任期満了に伴う役員改選に当たって、不肖私こと委員各位のご推挙を賜り、会長理事に就任させていただくこととなりました。

浅学非才の身で、もとよりその器ではないことは重々承知いたしておりますが、この上は微力ではあります。が、渾身の努力をいたす所存であります。

何卒、護持会会員並びに役員各位のご指導とご支援を賜りますよう、心からお願ひ申し上げます。

人格識見共に秀でた前会長、土江嘉久先生のご功績は多大であります。私も副会長として任えさせていただきます。いただき、その偉大な人柄には心から敬慕いたしております。

今期、お寺様には大聖前住職さまの退董式(八月七日)、並びに裕光新住職さまの晋山式(十月十九日)がそれぞれ執り行われます。

昨年九月、裕光住職さま(當時は副住職)には島根県第二宗

務所(県東部管内二百五ヶ寺)の教化主事という重職にご就任なさいました。

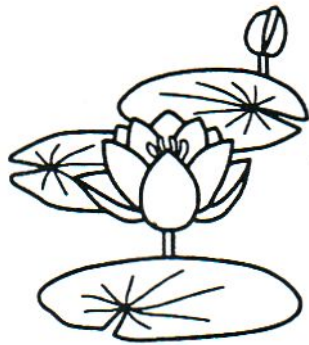
私も檀信徒にとりましても誠に名誉なことであり、皆様と共に心からお慶びを申し上げます。

つきましては護持会では特別会計を設定し、儀式執行費用の課当金を、会員各位のご理解とご協力をいただき、ご負担願うことと致しました。

檀家とお寺さまの関係は、私ども檀信徒が浄財を募り、住職さまと力を合わせ菩提寺の伽藍を維持管理すると共に、寺族方の協力をも頂きながら曹洞宗の教義具現の実践活動を通じ、檀家それぞれが祖先の霊を尊び祀ることにあると考えています。

さらには会員の相互が、研鑽を重ねつつ護持会の使命を果たしてまいることだと思えます。会員、役員各位のご理解、ご協力を重ねてお願い申し上げます。就任のご挨拶いたします。

合掌



退任の挨拶 仏道を歩む幸せに感謝して

土江嘉久



平成十二年より十五年に至る間不肖の身ながら弘長寺護持会の会長としてその職務を担当させていただきました。このご縁はお寺の方丈様はもとより関係各位数多の方々から親しくご指導賜ることとなり、常日頃仏道を歩む幸せを深く感謝し喜んで居る次第でございます。

人間。誰しも幸せを念願するのは当然のことです。しかし現実には内容や程度に差はあっても苦しみや迷いは尽きる事なく遭遇し、避けて通ることができません。でも、仏道を歩むならば人生途上どんな苦しみや迷いに出会っても、適切に対処され解脱し救われるものと、私は信じます。

み仏の慈悲は広大無辺。弘長寺護持会皆様の今後幸せを心から祈り退任の挨拶と致します。

合掌

お願い

●墓地について
▽当山の門前新墓地が、今のところまだ半分程残っております。

近い将来には必ず満杯になりますので、ご検討されておられる方はお早めにお申し込み下さい。価格は四十万円ですが、一区画の広さ、利便性、環境の良さでは町の墓地より格安です。

いくら近くにあっても急坂を登らねばならないとか、車社会なのに駐車場が狭かったりとか、現在の墓地に不満をお持ちの方、一考の価値はあります。

●阿弥陀堂

▽現在の阿弥陀堂は古い建物ですから、外から柱を手で押しただけで、グラグラ揺れます。一度に大勢の方が入ると床が抜ける危険性がありますので、ご注意下さい。(特に施食会・晋山式)

●阿弥陀堂茶湯器について

▽まもなく二百九十の位牌が安置されます。現在の阿弥陀堂(位牌堂)茶湯器は古い竹細工のものが殆どです。一件のお宅で五ヶ以上お供えしてあるものもございます。

取りあえず全部取り払い、数力所に限定させていただきたいと思っております。我が家の茶湯器を処分されては困るという方は、お寺にご連絡下さい。

●托鉢行について

▽月に一度、托鉢行を行う予定でしたが、教化主事拝命以来一度も出来ません。毎週火・金二日の出勤日以外にも出勤する事が多く、梅花講の練習にも影響が出ている現状なので、忙しくて当分はあきらめます。しかし、チャンスがあれば出かけたと思いますのでよろしくお願ひします。

阿弥陀堂(位牌堂) 建立に対する 考え方

7月の中旬以降に、お申し込みたいいただいた金位牌が出来上がって参ります。

ここで阿弥陀堂(位牌堂)に対する考え方の経緯を説明致します。

当初、阿弥陀如来座像の阿弥陀堂はそのまま、別の場所(現阿弥陀堂裏の広場)に位牌だけを安置する位牌堂を建てるという構想でした。

その後、諸事情で中断延期となりました。待ち望んでおられた方には申し訳なかったのですが、今は、性急に事を運ばなくて却って良かったと思っております。

お檀家様の中から、「せっかく位牌を阿弥陀堂に見守ってもらっているのに、阿弥陀様と位牌を別々にするのはおかしい。」とのご意見をたくさん頂戴しました。

将来建設の段階に至れば、もちろんお檀家皆様方のお考えを最終確認しなければなりません。と思っております。

しかし護持会委員会として

(土江前会長からも再三に渡って委員会での説明あり)「位牌だけを安置する位牌堂(各家毎に祭壇を設ける)の建立」という最初の計画は破棄し、今の場所に、現在と同じような阿弥陀堂を建立した方がよいであろう(名前も位牌堂ではなく、阿弥陀堂として)との意向で進んでおります。



揺るとグラつき揺れる

老朽化した阿弥陀堂

その理由は、各家の祭壇を設ければ確かに立派かもしれないが、管理も大変であるし、建設費も大幅に増大する。

諸事情で位牌をすぐに安置されたいお檀家様も若干あります。位牌だけを置く位牌堂建立という名目よりも、阿弥陀堂(位牌を置くことも出来る)改築と銘打った方が、

混乱が少ないと考えられる。

位牌だけの位牌堂を別に建てれば、現在の老朽化した阿弥陀堂もいずれ早急に改築を考えねばならず、負担は倍になる。

場所も、裏の広場(寺族所有)に建てるのは消防法に違反します。現在の古い阿弥陀堂を取り壊し、その場所に新しく建て直した方が、合法的であり、書類手続きも容易です。



屋根の痛みも激しい阿弥陀堂

以上のような理由で委員会では阿弥陀堂改築の方向で進んでおりますが、何百年に一度の大事業ですからじっくり考えながらまいりたいと思っております。

お檀家皆様方の阿弥陀堂(位牌堂)です、どんな事でも構いませんので、各地区委員が住職に、ご意見ご要望をお聞かせ下さい。

仏様に

下駄を預けます

つくづく世の中はうまくいかないものだと思います。ここでこうなつて欲しいと神仏に願つても、結果は大抵裏目に出ることが多いのです。

ひろさちや先生(宗教評論家)は「仏様に下駄を預けよう」と書いておられます。

裏目に出た時は、お前の人生の中で、今はこの結果の方がお前にとつて良いのだ、と仏様がそう望んでいらつしやる。

そう解釈すれば気が楽です。

それを「仏下駄主義」と呼ぶんだ、とおっしゃいます。阿弥陀堂建立もそうだと思います。

仏様が望まれた時に、事がトントに進むであろうと思います。私は、仏様に下駄を預けます。

東堂様の近況

現在は喜南のショートステイに入っておられ、すこぶるお元気です。

八月七日の退董式には車イスにて退董に臨まれます。



喜南での東堂様

百五十回忌

本年新春号で150回忌の戸主不明戒名表を、間違えて去年の表を載せておりました、申し訳ありません。

戒名	地区	命日	備考
陽安敬春信士	浜	1/27	弥蔵
寿山挾量居士	浜	2/3	半兵衛・シマサキ八十の父
見聞悟心信士	鏡	3/28	菊助の倅
徳光庵水屋智繁大師	大野	4/28	シタマエ周兵衛の母
即應貞心信女	鏡	4/28	傳右衛門の妻
荷屋妙葉信女	内ヶ峠	7/9	久蔵の妻
榮屋妙昌信女	浜	8/16	助七の母
湖月妙霜信女	浜	10/20	国太郎の祖母

住職の携帯電話番号です

090(7120)6636

いつでもどうぞ!

◎お稚児さん募集します

一生に一度の記念になります

十月十九日(日曜日)住職の晋山式に稚児行列を行います。稚児行列に参加して頂くお稚児さんを募集します。幼児(小学六年位まで)、幼児は保護者同伴でお願い致します。二、三百メートル位ゆっくり歩いてお寺に到着、灌頂洒水の後で記念写真、おやつをもらって解散となります。

記

期日 十月十九日(日) 午前十時出発(九時集合)

集合場所 弘長寺地区公民館

参加費 2,000円(貸し衣装代3,500円の内、1,500円はお寺で負担)

申込締切 九月一五日程 お寺へお申し込み下さい

※当日は仏具屋さんが説明されますので全く心配いりません

※稚児行列は全面的に弘長寺地区「十和の会」にお世話になります

平成十五年度護持会地区委員

地区名	委員	役職名
弘長寺	高木大	会長
〃	武田民三	幹事
〃	石富頼男	幹事
〃	伊藤正久	幹事
〃	五百川道治	副会長
〃	伊藤房男	理事
〃	伊藤博	理事
〃	勝部勝義	理事
〃	坂本研次	副会長
〃	坂本順	理事
〃	池田	理事
〃	小松	理事
〃	中垣	理事
〃	内ヶ峠	理事
〃	横見	理事
〃	大野	事務局長
〃	来待大森	理事
〃	和名佐菅原	理事
〃	大谷玉造田根	理事
〃	柳井	理事
〃	町部緑ヶ丘	理事

梅花・仏教豆知識はお休みします

お知らせ

●お盆棚経について

▽本年度の盆棚経は、横見石富吉一様方から開始致します。横見↓大野↓和名佐↓大谷↓弘長寺↓鏡の順に、廻れる所まで。新盆のお宅へは十四日に参ります。

●阿弥陀堂位牌安置方法について

▽阿弥陀堂をまず地区別に分けます、地区委員のくじ引きにて地区の場所が最初に決まります。次に地区内の各家の位牌安置場所を、各家毎にくじ引きしていただき、決定します。地区委員が伺います。あくまでも新阿弥陀堂建立までの暫定処置です。

●本堂の畳が新しくなりました。

▽退董・晋山式に向けて、本堂の畳を新しく替えていただきました。最高に気持ち良く、別のお寺へお参りしたみたいですよ。

●阿弥陀堂応急修理しました。

▽支柱がシロアリ被害でボロボロになりましたので応急修理、横板や隙間を埋める修理も致しました。美観を損なうのですが、倒れぬように外から別の支柱(つかえ棒)も当てることにしました。

●台所・庫院・東司・廊下等

改修しました。▽退董・晋山式に向けて、狭い台所や傷んでたわみのできた廊下・東司(便所)を改修しました。